

DOE が水素技術発展のためにプロジェクトを公募

2017.08.30



この文章は「DOE Announces Request for Proposals」, 「Green Car Congress_ DOE issues \$6M request for proposals」の英語記事を日本語に要約したものである。

文章中の言葉の定義

- H₂@スケール(H₂@Scale) → 水素技術を加味した考え方や概念

以下本文

米国エネルギー省（DOE）の燃料電池技術局（FCTO）は水素利用を可能にするH₂@スケールの拡大と水素の大規模生産のために以下の6つの項目について研究プロジェクトの提案を公募することを発表した。

- 水素技術を利用した経済体系の構築と分析
- 材料の互換性についての研究開発
- 電力網のシミュレーションと電解槽の試験
- 材料及び部品製造の研究開発
- 水素製造に伴う副産物の開発とその利用方法
- 研究開発に役立てるための水素装置の性能検証

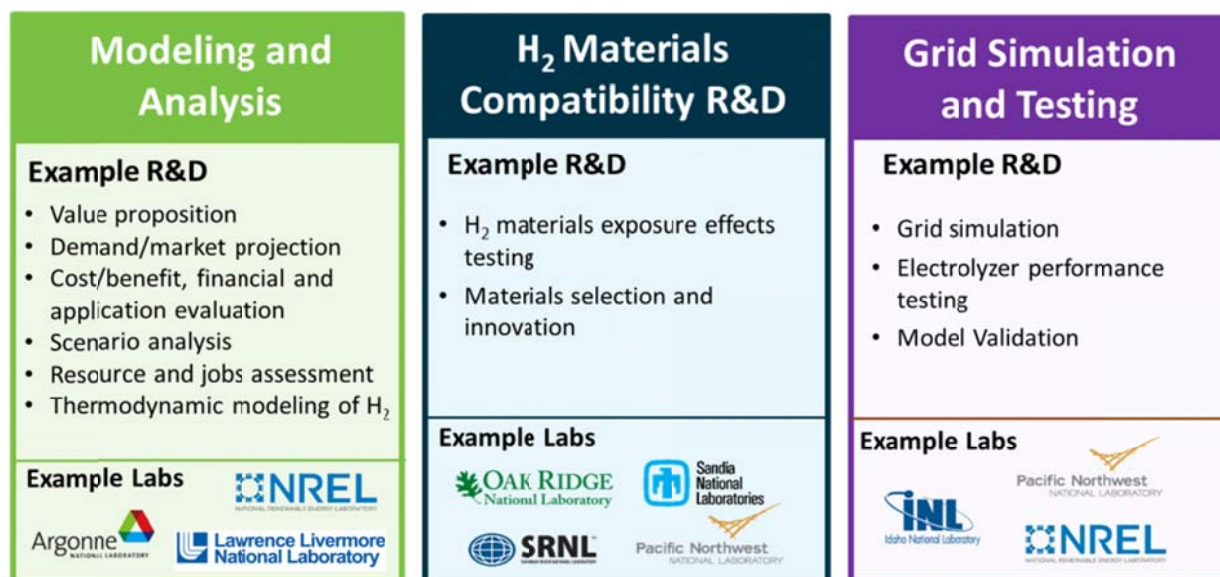


図 1. 募集プロジェクト

出典：DOE Announces Request for Proposals

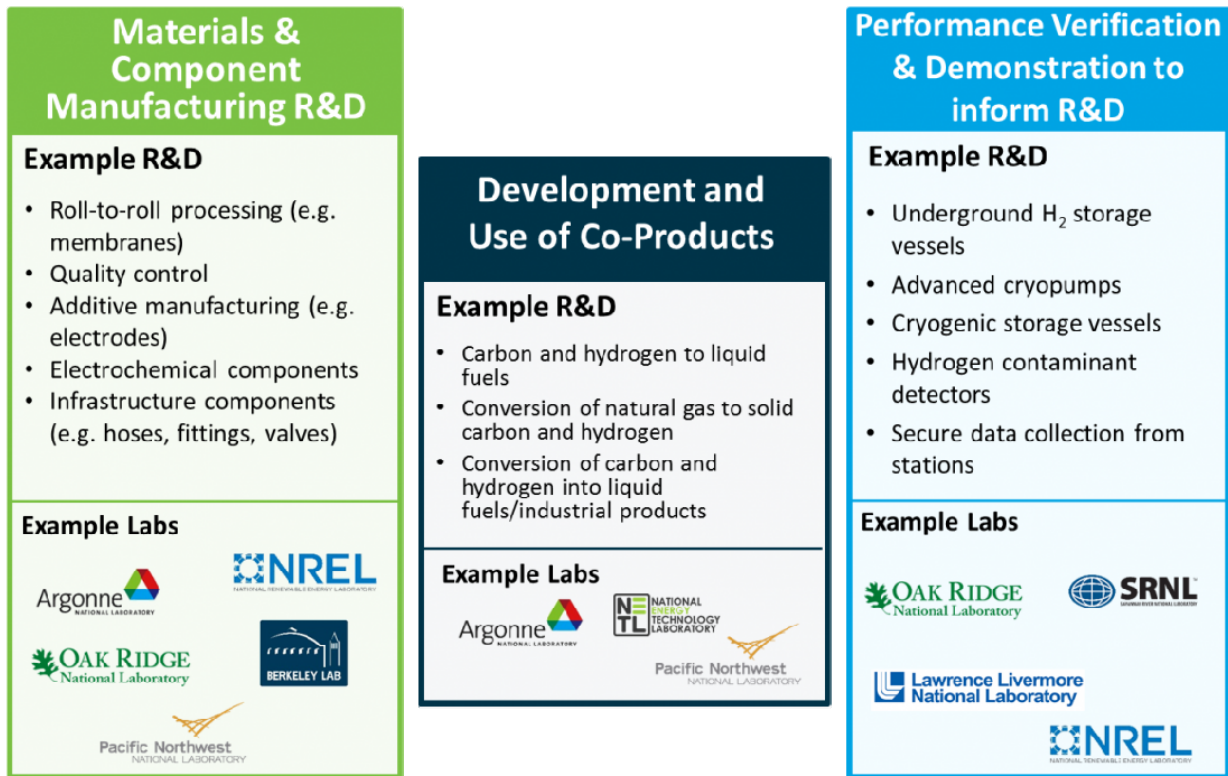


図2. 募集プロジェクト

出典：DOE Announces Request for Proposals

H₂@スケールが広く普及すると、災害時などで電力網が絶たれにくくなり、水素の生産と流通のコストは削減され、水素製造に利用可能な原料は多様化され、他にもエネルギー貯蔵、国内雇用創出などの問題解決の助けになることが期待されている。またこれらの大規模な水素の生産と活用により、2050年までに温室効果ガス排出量をほぼ50%削減することが可能であることも示されている。

DOEが募集している上記プログラムへの参加が許可された団体には補助費だけでなく、DOEの所有する研究所の知的資産へのアクセス権も得ることができる。ただしプロジェクトに応募するためには1つ以上の国立研究所が含まれていなければならない。

個々のプロジェクトの最大総費用は100万ドルとなっている(全6プロジェクトなので合計600万ドル)。ただこれはあくまで紙面上の数字であり、参加者はプロジェクトの資金調達総額の少なくとも50%の現金寄付を提供しなければならないことを加味すると、プロジェクトごとに利用可能なDOEの費用シェアの最大額は50万ドルとなる。

FCTOはそれぞれのプロジェクトの今後の可能性に応じて複数の賞を授与する予定であり、すべての資金が配分されるまで賞与されるプロジェクトは発表され続ける。

以上